

# もり 森 ゆみ子の 鳥取県議会議員 県政報告

## 輝け<sup>+</sup>とっとり vol.1

私は、日本ではまだ数少ない女性起業家の一人として、35年前に起業しました。鳥取・鳥根の両県で事業を続けながら、4人の子どもを育ててまいりました。仕事と子育ての両立は、決して平坦な道ではありません。家族や親戚、友人、そして学校の先生方に支えられながら、日々工夫し、考え、時には悩みながら歩んできた35年でした。そんな中、新型コロナが時代を一変させました。混沌とした日々の中で、気づかぬうちに気持ちは沈み、どこか自分らしさを失っていたように思います。そして、そんな自分を好きになれずにいました。そんな時、知人の紹介でミセスコンテストの存在を知り、「エイジレスな生き方に挑戦したい」そう強く思い、還暦を前に一步を踏み出しました。挑戦の中で気づいたのは、年齢に関係なく、チャレンジの扉は開かれているということ。そして、自分の意思で前向きな生き方を選べる時代であるということでした。同時に、この街に暮らす人たちの温かさにも、改めて気づかされました。「大丈夫!」「がんばれ!」そんな言葉に背中を押され、私は再び前を向くことができたのです。だからこそ私は、「輝け鳥取」という旗を掲げたいと思いました。誰もが未来に希望を持ち、安心・安全に、そして楽しく、いきいきと暮らせる地域へ。そして、子どもたちに何を残していくのかを、皆さまと共に考えていきたい。

この街のために力を尽くしたい  
その思いが、今、心の底から湧き上がっています。

輝く未来へ。  
新しい風となり、  
「人を大切にする地域」  
「楽しく暮らせる地域」を創る。

地方創生のトップランナーとして、  
鳥取県のこれからの貢献してまいります。

森 ゆみ子

### プロフィール

昭和40年 鳥取県松江市生まれの59歳  
昭和58年 鳥取県立松江商業高校卒業  
国体バスケットボール鳥取代表、鳥根代表両県で出場  
全国バスケットボールクラブ選手権全国第2位  
米子市内の広告代理店勤務を経て25歳で起業

平成11年 有限会社静岡 設立  
平成24年 株式会社ARATA 設立  
令和7年 有限会社 静岡 / 株式会社ARATAの代表取締役社長を辞任  
令和7年 株式会社 静岡 会長に就任

前鳥取県教育委員会委員  
前鳥取大学医学部附属病院臨床研究審査委員会委員  
ミセスオブザイヤー2024世界大会クイーン受賞

### 所属団体

鳥取県経済同友会西部地区幹事  
米子ロータリークラブ  
米子商工会議所会員  
米子商工会議所女性会会員

◆ 家族 / 夫・義母・子供4人 (3人は独立・高校生の次男は同居) 現在5人暮らし  
◆ 趣味 / ストレッチ・スポーツ鑑賞  
◆ 特技 / ウォーキング・イラスト  
◆ 好きな食べ物 / 焼き芋・とろろ蕎麦  
◆ ねごと豆腐のお味噌汁・おにぎり  
◆ 好きな言葉 / 心身美幸 (心も身体もしなやかに健康で美しく生きる)



◆森ゆみ子事務所◆  
〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉3丁目17番48号  
☎ 0859-57-3110 FAX 0859-57-4820  
✉ info@moriyumiko.com 🌐 https://moriyumiko.com/

森ゆみ子 公式LINE

LINE登録 よろしくお願ひします



IDでも登録可能

●森ゆみ子公式LINEでは日々の活動やお知らせを配信しています  
●公式LINEに登録いただくと、ホームページや各公式SNSに簡単にアクセス可能です

@517zrqb

📄 討議資料

## 2025 - 2026 森ゆみ子のあゆみ

鳥取県障がい者スポーツ協会表彰式にて。浜田前議長に功労賞が贈呈されました。

鳥取県スポーツ協会表彰式にて。全国優勝城北のバスケットボールの選手と一緒に。

米子駐屯地創設75周年記念式典にて。中尾圭介米子駐屯地司令と。

国スポ・全国障害者スポーツ大会知事表彰式。少年・成年の相撲競技の選手の皆さん。

地域県土警察常任委員会で出前県議会「みんなで話さず」若者と女性をテーマに。

インド大使館・鳥取デー山本あきこ議員と一緒に参加

鳥取防災フェスタにて。地域活動表彰。初めて防災服に袖を通しました。緊張感。

かわいいちっちゃいだるまに勝利の目入れ。

はじめての一般質問、仕事と子育て、介護など「両立の時代」に向けて質問。

いよいよ事務所開き。柳谷後援会長と必勝祈願の神事を執り行いました。

子ども食堂ネーランドさんのニューオープンカフェに食材をお届け。

2026.2月-3月

2026.1月

2025.12月

2025.11月

2025.10月

2025.9月

2025.8月

2025.7月

2025.6月

2025.5月

2025.4月

2025.3月

『米子の未来を作る座談会』にて。乾杯のご挨拶をさせていただきました。

米子RCカップポッチャ大会。競技を通じて交流を深め共生社会の実現を目指す大会。

中、四国ブロック消防援助隊合同訓練。移動トイレ200人対応。

鳥取県地域県土警察常任委員会、副委員長として地元選出の国会議員に要望活動。

米子RCカップポッチャ大会。

ミセスオブザイヤーの広島審査員に呼ばれて。平和を願う大会として。

自民党県議会議員の皆さんと要望活動。直接、石破総理大臣に要望書を渡しました。

米子デジタル健康、防災フェスタ。フレイル予防で自分の足で避難を。

鳥取県消防ポンプ操法大会。鳥取県予選に知事と仲間の議員の方々と応援。

地域県土警察常任委員会の議員の方々と初の県外視察。北海道に。

大阪万博にて「とっどりの日」に議員の方々と。『とっどりの日』は超人気行列でした。

『鳥取県消防ポンプ操法大会』鳥取県予選に知事と仲間の議員の方々と応援。

PTAの同窓会。振り返るとPTAは大切な「助け愛」の場所でした。ありがたいご縁です。

自民党青年局の皆さんがつじ立ちの応援に来ていただきました。感謝。

# 森ゆみ子鳥取県議会定例会質疑応答

## 地域で支える子育て社会

## 少子化時代に挑む「シン・子育て王国とっとり」

令和7年6月定例議会

子育ては「社会全体」で支える

保育は「人材定着」が最重要

働くは「昼も夜も選べる社会へ」

### ▶ 提案する具体的な施策・方向性

### ← ここがポイント

- 質問①(少子化の現実)  
出生数は約3,000人まで減少 / 労働人口は今後さらに減少  
→ 小さな県だからこそ「全員で支える仕組み」が必要
- 質問②(子育ての負担)  
共働き・核家族化で / 家庭だけでは限界  
→ 地域全体で支える体制へ
- 質問③(保育士の離職)  
人間関係・負担・事務作業が原因 / 潜在保育士も多い  
→ 「人材確保・定着のための体制整備」が必要
- 質問④(働き方の制限)  
夜間に働けない=機会損失 / 人材不足・収入減少  
→ 夜間保育の整備が必要

- オール鳥取で子育て
  - ・地域全体で子どもを見守る
  - ・安心して居場所づくり
  - ・移住・定住につながる環境
- 保育士の定着強化
  - ・離職防止=コスト削減
  - ・働きやすい環境づくり
  - ・支援体制の強化
- 現場支援の強化
  - ・スーパーバイザー配置
  - ・保護者対応のサポート
  - ・相談・伴走型支援
- 夜間保育の推進
  - ・夜間労働者の支援
  - ・高収入機会の確保
  - ・地域経済の活性化

- 「ここで産み育てたい県」へ
- 保育の質と安定を両立
- 保育士が子どもに集中できる環境へ
- 「働く」と「育てる」を両立

小さな県だからできる、日本一やさしい子育てモデルへ

## 私たちが主役で輝く鳥取

## 地域 × 防災 × 観光 = 人がつなげる鳥取スタイル

令和7年9月定例議会

防災は「つながり」で守る

観光は「価値」で選ばれる

人は「関係」で集まる

### ▶ 提案する具体的な施策・方向性

### ← ここがポイント

- 質問①(防災・コミュニティ)  
自治会の負担軽減でコミュニティ維持
- 質問②(観光戦略)  
インバウンド観光戦略について。  
アフター万博、国際便、マリOTT開業を契機にする観光
- 質問③(教育)  
郷土への誇りや愛着の醸成につながる教育について。  
大山など観光資源の自然・環境保全・歴史をストーリーで学ぶ学習
- 質問④(追及：関係人口)  
鳥取が第二の故郷となる県外から来たスポーツ留学生について。地域・企業・住民との更なる交流の推進

- 回覧板など負担軽減。  
つながりを維持するために LINE 等で情報共有
- 万博による認知拡大を一過性で終わらせず、富裕層・長期滞在者向けに自然・文化・地域活動などの高付加価値サービス提供
- 地域にある観光資源や歴史・文化の価値を学び、子どもたちが自分の言葉で地域の魅力を語る力をつける

- 無理なく関われる仕組みがコミュニティの存続と防災力の強化を同時に実現する
- 持続可能で収益性の高い観光モデルを確立
- 郷土への誇りと愛着を育み、将来的な関係人口・定住人口の創出につながる

## 地方創生・挑戦を止めない鳥取県！

## 地域 × スポーツ・教育 × 若者 = 交流人口・関係人口

令和7年12月定例議会

地域と人をつなぐ挑戦へ

人が循環する地域へ

“選ばれる理由”をつくる

### ▶ 提案する具体的な施策・方向性

### ← ここがポイント

- 質問①(国スポ)  
国スポ開催に向けて・競技力向上・持続可能な運営・まちづくりと運動  
→ どう進めるのか？
- 質問②(スポーツ × 人口)  
スポーツの力で・交流人口・関係人口が生まれている  
→ この流れをどう拡大するか？
- 質問③(教育・留学)  
県外からの高校進学(ふるさと留学)  
→ 受け入れ環境(寮・住居)は十分か？
- 質問④(魅力発信)  
高校のPR動画など  
→ 発信力をどう強化するか？

- 国スポは「競技+地域づくり」へ  
・ジュニア育成の強化  
・鳥根県との広域連携  
・持続可能な大会へ
- スポーツで人を呼び込む  
・強化チーム → 留学・移住へ  
・指導者・選手の交流促進
- 留学を支える環境整備  
・寮・住居の整備(広域も検討)  
・市町村と連携した受け入れ体制
- 魅力発信の強化  
・高校PR動画の活用  
・SNS(TikTok等)で拡散  
・オンライン相談の充実

- 持続可能な大会モデルへ
- 「スポーツ関係人口」を創出
- 「選ばれる県」へ
- 若者・保護者に届く発信へ

## 人生100年時代の健康寿命の延伸

## しなやかに、アクティブに生涯現役社会

令和8年2月定例議会

年齢はハンデではなく「価値」

健康 × 活躍でウェルビーイング向上

地域資源で“元気に生きる社会”へ

### ▶ 提案する具体的な施策・方向性

### ← ここがポイント

- 質問①(超高齢化の加速)  
2040年：高齢化率約40% / 人口減少+人材不足  
→ 社会構造の転換が必要
- 質問②(高齢者の捉え方)  
「支えられる側」という固定観念 / 活躍の場が見えにくい  
→ 発想転換が必要
- 質問③(地域資源の未活用)  
温泉・サウナ・スポーツが点在存在 / 健康施策と運動不足  
→ 一体的活用が必要

- アクティブシニア・アクティブエイジ社会の創出  
・「活力創出世代(18~74歳)」の提案  
・ロールモデル化(カッコいいシニア)  
・全国老人クラブ大会の活用
- シニアバンクの活性化  
・登録6,000件/年間2,000人活動  
・スキル・経験の地域還元  
・60才以上ではなく50才くらいのアクティブエイジ世代から活用可能に  
・PR強化・マッチング促進
- 温泉の地域資源の価値を、健康・ウェルネスの観点から再定義。  
・皆生温泉・三朝温泉・鳥取温泉など温泉の地域健康資源としての価値の再確認  
・スタンプラリー等の仕掛け
- スポーツで生涯活躍  
・ワールドマスターズゲームスをスポーツジムなど民間と一緒に盛り上げる  
・ボッチャ等インクルーシブスポーツ  
・中山間地域などの学校の体育館の利活用

- 生涯現役の価値観へ転換
- 「活躍の見える化」
- 観光 → 健康資源へ進化
- 世代・障がいを超えた交流
- 日常で運動できる仕組みへ

年齢を重ねるほど、人生が輝く社会へ  
「健康 × 活躍」で  
地方創生の新モデルを鳥取から

